

## 三者連携の多様なカタチ ～モレのない災害支援に向けたコーディネーション～

熊本地震を契機に、被災地で復興支援にあたる行政、災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）、民間セクター（NPO・ボランティア・企業等）による情報共有会議が行われるようになってきています。

なぜ情報共有会議が必要なのか、そのためにどのようなネットワークが必要なのか。「三者連携」の必要性や、今後に向けて地域のネットワーク作りに取り組んでいる自治体から報告いただきます。

また、熊本、岡山、千葉など、状況の異なる被災地からの現状報告を受け、緊急から復興フェーズでの課題を理解し、多様なセクターが、どのように連携してモレのない支援に取り組んでいけるのか、参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

○日時:10月20日(日)

12:30～14:00

○場所:名古屋市ささしまライブ 24

名古屋コンベンションホール

301号室

(名古屋市中村区平池町 4-60-12

グローバルゲート)

○参加費:無料

○申込・問合わせ: 特定非営利活動法人

全国災害ボランティア支援団体

ネットワーク(JVOAD)

Tel 080-5961-9213(代表)

(担当 神元)



【ぼうさいこくたい2018セッションの様子】

# 登壇者紹介

## 第1部:「三者連携」が必要な背景と「県域ネットワーク」構築に向けた自治体の新たな取り組み

### 三者連携について

なぜ、「三者連携」が必要なのか、どのような経緯で「三者連携」が進められてきているのか、行政、災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）、民間セクターの立場からお話します。



石垣 和子氏  
内閣府 政策統括官  
(防災担当) 付企画官  
(普及啓発・連携担当)



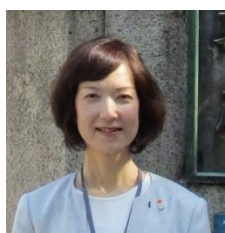
高橋 良太氏  
全国社会福祉協議会  
地域福祉部長、全国  
ボランティア・市民  
活動振興センター所長



明城 徹也  
(特非) 全国災害ボラ  
ンティア支援団体ネット  
ワーク 事務局長

### 県域ネットワークに向けた取り組みについて

「三者連携」をベースとした、多様なセクターによる県域ネットワークの構築に取り組んでいる自治体の方々から、それぞれの地域の状況などを伺います。



藤本 千佳子氏  
宮崎県総合政策部 生活・  
協働・男女参画課 協働  
推進担当 主幹



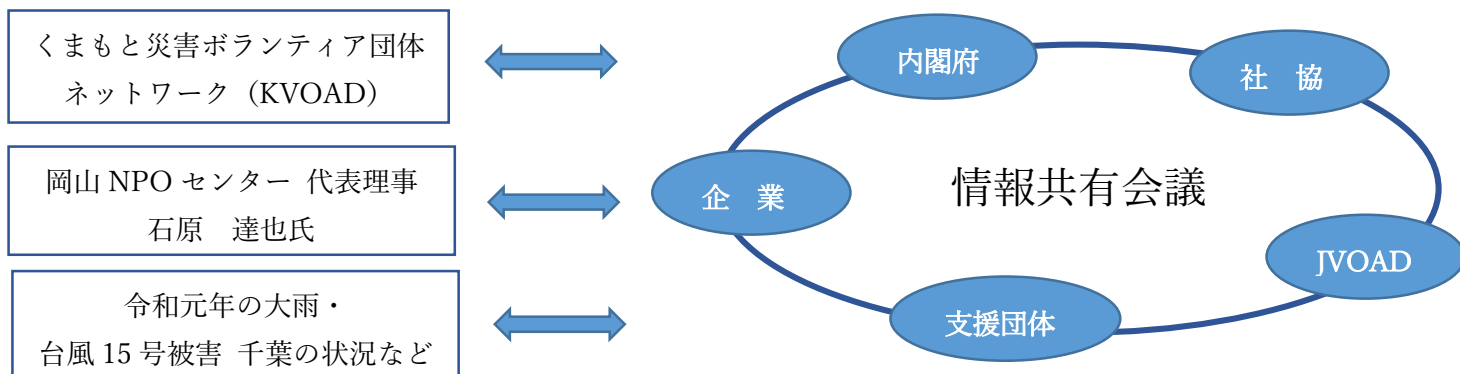
森 祥一氏  
岐阜県健康福祉部  
地域福祉課 管理監



渡邊 弥里氏  
名古屋市市民活動  
推進センター

## 第2部:被災地からの現状報告と情報共有会議(模擬)

復興フェーズの異なる被災地からの現状報告を受け、多様なセクター間での対応、協議などをお見せします！



### 参加申し込み

下記内容を「[kozue-kamimoto@jvoad.jp](mailto:kozue-kamimoto@jvoad.jp)」まで送付ください。

お名前	ご所属先	E-mail	電話番号